はまぐち誠 政策 NEWS Vol.15（2021/6/11）
発行：はまぐち誠 事務所

6/8 国土交通委員会で質問に立ちました

■高速道路料金改定時におけるユーザー負担状況

		値上げ幅		値下げ幅	料金変動	
		最大	最小	最大	値上がり	値下がり
首都高速	2012年 改定 当時料金（500～900円）	500円	100円	800円	約4割	約2割
	2016年 改定 対距離料金（上限1,300円）	370円	10円	250円	約4割	約6割
名古屋高速	2021年 改定	950円	10円	650円	約4割	約6割

■NEXCO3社（西日本・中日本・東日本）定額500円 導入時の負担状況

値上げ幅		値下げ幅（区間例）			料金変動	
最大	最小	東京～名古屋	大阪空港～信州	広島～福岡	値上がり	値下がり
400円	100円	▲6,720円	▲14,510円	▲5,960円	約4割	約6割

↗高速道路料金の議論に使用した資料

現行の利用台数を多角的に検証！

ワンコイン・定額制料金の導入根拠、実現可能性を政府に提示！！

質問のポイント

- **公共交通機関の感染リスクに対する分析・評価について確認。安全な移動手段としてのPR・周知を、政府がより積極的に行うよう要請**
- **公共交通機関や観光産業に対する長期・継続的な財政支援を要請**
- **高速道路料金の低減化に向けて、「生活者」「消費者」「働く者」の立場に立ち、ワンコイン（500円）定額制料金の導入を提案**

【公共交通機関の安全性PR】

○現在、公共交通機関（鉄道、バス、飛行機含む）では車内換気や消毒等の徹底した感染対策が取られており、**クラスターも発生していない状況**。一方で、**国民の中には公共交通機関に対する不安意識が根強くある**。安全な移動手段なのだと、国が先頭に立ちPR・周知してほしい

（赤羽国交大臣）議員指摘の通り、交通事業者が万全な感染拡大防止対策を取っていることは国としてもできる限りの広報・周知活動をやっていきたい。同時に、交通機関を利用される方々に対しても、**新しい旅のエチケットの徹底**を同時に行っていかなければならないと認識している

【公共交通機関や観光産業に対する長期・継続的な支援】

○コロナ禍で大きな打撃を受けている観光や宿泊、公共交通機関等への長期にわたる支援策を実施し、国としてしっかり支えていくことをお願いしたい

（観光庁長官）観光関連事業者への支援については、**感染状況が落ち着いている都道府県の県民割事業の支援対象となる予約販売期間の延長（本年12月末まで）を検討しているところ**。また、公共交通事業者に対しては、業界等のニーズを踏まえ、地域の鉄道、バス、離島航路等の運行維持や感染防止対策の強化等について、令和3年度当初予算等によりこれまでにない手厚い支援を行っている。引き続き、安全、安心な旅行環境の整備や観光関連産業事業者への支援の在り方について適切に検討・対応していきたい

【高速道路料金の低減】

○全国の国民に高速道路をより多く利用してもらうため、これまでもワンコイン、定額制料金の導入を提案している。仮に**500円の定額料金**になった場合、**利用者の5割以上が値下がりとなり、物流関係者を含め、利用するメリットが高まる**。現行の対距離制にこだわる理由は何か？

（道路局長）ご提案の定額制については、①長距離と短距離の負担の公平性が損なわれる②短距離が割高になり利用者が減る③激しい渋滞が発生④収入の減少により債務の確実な返済に支障が出る等の課題があると考えている。今後も幅広い議論を行い、様々対応していきたい

○いくつかの理由を挙げてもらったので、次回はこれに対する反論も含めて議論を継続したいと思っている